北ア　表銀座～東鎌尾根～槍ヶ岳～奥穂高岳～前穂高岳　縦走

期間：２００９年7月２９日～8月2日
メンバー：野澤（記）

毎年、7月末に5日間夏休みがある。会のメンバーと休みが合わないので、例年この期間は一人で縦走することにしている。
去年は双六、鷲羽、水晶、薬師、黒部五郎、西鎌尾根と歩いたので、今年は東鎌尾根を中心に、蝶ヶ岳、常念岳、大天井岳、槍ヶ岳、南岳、奥穂高岳、前穂高岳と縦走することにした。
今回は膝のリハビリも兼ねているのでのんびりの計画を立てた。それでも一抹の不安が残る。

７／２８（火）
　２３：００　新宿発夜行バス

７／２９（水）　雨
　５：３０　上高地着
　６：１５　上高地発
　８：０５　徳沢園発
ここから樹林帯の急登だが雨が激しくなってきた。樹林帯なので、雨はあまり当たらないが、登山道が川のようになってきた。最初から登山靴がぐっちょりだ。

１３：００　蝶ヶ岳ヒュッテ着
雨風が強い。テントが飛ばされそうで、心配でトイレへもいけない。こういう時は飲んで寝るに限る。早々にテントに入り、日没と共に寝てしまった。

７／３０（木）
　６：００出発
今日は常念岳～大天井岳まで。このルートから見る槍ヶ岳は大層美しいそうなので期待するが、生憎の曇り空。景色がほとんど見えない。雨男の本領発揮だ。（こんなときに発揮したくなかったのだが・・・）悔しい。
それでも時々雲間から槍ヶ岳方面の尾根が見える。

【常念岳】
常念小屋を越えると、大天井岳まではトラバースぎみに進む。快調に進む。

１５：００　大天井岳着　テント場

７／３１（金）
　６：３０発　大天井岳着　テント場
今回の一番の楽しみな東鎌尾根。西岳ヒュッテを超えると一気に梯子と鎖場が現れる。昨日までの単調な登山道とは少し違う。この方が好きだ！
快調に進み、１４：４５　槍ヶ岳山荘到着。一番良い場所をとリクエストして勧められたテント場にテントを張り、頂上をピストンする。韓国人の団体やヨーロッパ系の団体など国際色に富んでいた。

８／１（土）
　５：４０　槍ヶ岳発

朝５：００まで雨。今日も朝日を見ることが出来ないのかなと思っていると急に外で歓声が。覗いてみると何と日の出直前。慌てて起き出しシャッターを切る。

尾根側では、反対側を見ている人から歓声が。テントから飛び出し尾根へあがる。
何と２重の虹だ。初めて見る２重の虹に感激。

【槍ヶ岳　中岳より】

中岳まではご覧の天気。天気も回復方向か？雨男返上か？浮き浮きしながら歩いているとどんどん雲が出てきて南岳に着いたころには本降りになってしまった。８：００南岳着。
この先は、厳しいのに困ったな！雨の中ゆっくり歩く。ただひたすら歩く。
途中、韓国の団体と抜きつ抜かれつ。マイペースで行くよりも意外と時間がかかる。
夕方、穂高岳山荘のテント場着。
６人用のテントの隣にテントを張った。
挨拶したら、何と一人とのこと。しかも、夕食も朝食も小屋で食べると。何て贅沢なの！羨ましい。隣で侘しく今日もラーメンもすする。

８／２（日）　雨
５：３０　穂高山荘出発
奥穂高岳～前穂高岳～上高地で下山する。

下りは雨で滑りやすい。慎重に降りる。
前穂高岳は、春合宿で行ったので今回はパスする。
昼前には、上高地に着いてのんびり風呂に入り、一人で下山祝いをして新宿行きのバスに乗り込む。天気は悪かったが今年も充実した夏休みであった。いつも夏休みぎりぎりまで遊ぶ。子供たちよりも遊んでいるかな？

帰りのバスで、来年はどこへ行こうかなと思いを巡らす。
下ノ廊下、剣岳、立山岳周辺をのんびり５日間か、それとも新潟方面か？北海道か？金もないのに夢だけは膨らむ。
これから１年あるので、のんびり悩む。
これも楽しみの一つ。たっぷり悩もう。

今年は、ウイスキーを一瓶持っていった。
山の上で、のんびりウイスキーの水割りをたしなむのもなかなかおつな気分に浸れるものだ。病み付きになりそうだ。
しかも、お陰でビール代が安くあがり、次の山行へ費用が回せる。一石三丁か？

いつもは、朝早くから暗くなるまで歩いているのに、今回は膝のリハビリもあり、のんびりだった。たまにはこういう山も良いもんだな～！